指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課（電話番号）	白石区土木部維持管理課（864-8125）①② 建設局みどりの推進部みどりの管理課 ③ （211-2536）

Ⅰ　基本情報

1　施設の概要			
名称	①川下公園 ②北郷公園 ③豊平川緑地（下流地区）	所在地	①白石区川下2651番地3外 ②白石区北郷8条9丁目 ③豊平川堤外地
告示年月日	①平成7年3月31日 ②昭和52年3月31日 ③昭和43年7月1日	面積	①194,560㎡ ②47,454㎡ ③644,000㎡
目的	都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	川下公園、北郷公園、豊平川緑地（下流地区）の維持管理及び運営（園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務、有料施設の運営等）		
主要施設	①リラックスプラザ、野球場、テニスコート、パークゴルフ場　他　②野球場、パークゴルフ場、テニスコート、ステージ　他　③サッカー場、テニスコート、野球場、パークゴルフ場　他		

2　指定管理者	
名称	公園緑化協会・川下公園コンソーシアム（(公財)札幌市公園緑化協会、横浜植木㈱北海道支店）
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
募集方法	公募
指定単位	施設数：3施設 複数施設を一括指定の場合、その理由： 当該施設群は全て公園または緑地施設であり、ほぼ全ての保守管理、修繕業務について共通化することでスケールメリットを活かした経費節減が可能であり、一括管理による効率性が著しいため、一括指定としたもの。
業務の範囲	公園施設維持管理業務、有料施設の管理運営、ライラック文化の普及啓発業務、公園ボランティアに関する市民活動支援業務、施設の使用承認に関する業務、公園の利用促進に関する事業実施

3　評価単位	施設数：3施設 複数施設を一括評価の場合、その理由： 管理施設は全て公園または緑地施設で、維持管理、施設内容に関しても類似性があり、また、有料スポーツ施設の利用受付についても、川下公園で一括して行っているため、各施設単位で評価したとしても差異が全く生じないことから、指定単位での一括評価とする。

Ⅱ　令和6年度管理業務等の検証

項　目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1　業務の要求水準達成度			
(1)統括管理業務	▽　管理運営に係る基本方針の策定 ≪理念≫ 私たちは、札幌市民との相互信頼を基に、みどりを通して心豊かな札幌の実現と次代への継承に貢献します。 ≪運営方針≫ 理念の達成のため、5つの方針（公平、公開、効率、協働、環境）を柱に時代やニーズに即し、公園の価値を高め指定管理者として市民の満足度向上に努めます。 ≪基本方針≫ 1. 平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。 2. 関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による、安全で安心、快適な利用環境を提供する。 3. 資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。 4. コミュニティ活動の拠点の一つと位置づけ、市民や関係諸機関との連携を強化し、資源の積極的な活用を図り、活動の場としての魅力を高める。 5. 東洋一を誇るライラックの森の価値を向上させ、「ライラック文化」の発信・普及を行う。 6. リラックスプラザを中心に、屋外・屋内の運動施設を連携させ、幅広い層の心身の元気回復と健康づくりの場としての価値を高める。	公園の管理運営を通じてライラックを中心とした公園の魅力を高め、リラックスプラザを地域に根付いた健康増進施設としての役目を果たしながら、理念・運営方針・6つの基本方針に則り管理運営に努めた。	A　B　C　D 業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。
	▽　平等利用に係る方針等の策定と取組実績 「公共施設としての公園・緑地に来られるお客様の第一の期待は、公園・緑地の平等・公平利用であると考え、お客様の期待以上の満足を持ち帰っていただくことを基本に、公園・緑地の平等利用確保の取り組みを行う」との方針を策定した。 方針に沿って、「利用者の平等・公平な利用機会の確保にあたり、研修、指導、啓発等を徹底し、全スタッフの意識を高める」ことに取り組み、不法行為防止の啓発指導、ホームページ等による新鮮な情報提供、コンプライアンス研修等を行いスタッフの能力及び意識の啓発を図った結果、年間のアンケート調査では、接客満足度87.0%、総合満足度90.9%となった。	情報発信、研修、指導、啓発等を積極的に実施しており、アンケート調査の結果においては、接客・総合満足度ともに札幌市要求水準を大幅に達することができ良好な接客及び、公園管理ができた。	
	▽　地球温暖化対策及び環境配慮の推進 令和6年から北海道環境マネジメントシステムスタンダード（HES）[ステップ1]を返上し、当協会独自のEMSを運用することにより、環境負荷の低減に向けた各種取組を実施した。 ▼　札幌市環境マネジメントシステムに則り、各種帳票を提出するとともに、公益財団法人札幌市公園緑化協会が運用する環境マネジメントシステムに則した管理運営を行った。 ▼　事務用品の購入については、グリーン購入ガイドライン指定品の購入を従来から継続して行っている。 ▼　スタッフに対して年1回、4月に環境マネジメント研修を実施した。	EMS（環境マネジメントシステム）の職員研修を年度初めに行い、全職員が環境に配慮した公園管理への意識を共有している。	

	▼ 使用量の大きいリラックスプラザのボイラー用燃料については、平成22年度以降、A重油からエコ重油に転換しており、地球温暖化ガス（二酸化炭素）排出量の大幅削減につながっている。 ▼ 家庭用廃食油の回収ボックスをリラックスプラザ玄関内風除室に常時設置し、家庭からの廃食油回収を常時行った。 ▼ 車両を使用する際は、アイドリングストップを励行し、EMSの目的・目標を遵守し、環境に配慮した管理運営に取り組んでいる。 ▼ 剪定枝、花がら、落葉等の植物残渣をリサイクルし維持管理資材として園内に還元している。 ▼ リラックスプラザの効率的な運営を図るべく、閉館時間を試行的に2時間早め、重油、電気、水道使用量を大幅に削減した。	ボイラー用Bio重油の使用、園内発生植物残査のリサイクルや自主イベントでの環境教育の啓発、ゴミの減量化、電気使用量の節約に努め、EMSを適正運用して、環境に配慮した公園管理を行うことができた。 また、試行的に実施したリラックスプラザの時短営業で効率的に重油、電気、水道使用量を大幅に削減し、環境負荷低減を図れた。		
	▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成） ▼ 統括責任者、統括責任者代理を配置した。 ▼ 業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を適切に定めた。 ▼ 仕様書のとおり職員を配置した。また、令和6年度に向けた臨時職員欠員補充は令和6年2月に採用試験を行い、3名を採用した。 ▼ 研修計画に基づき、接遇試験の受験や安全衛生教育等を実施した。 ▼ 各所定機関に対して労働関係法令に則った申請・報告書を届け出るとともに、スタッフが安心して働くことのできる雇用環境を確保するほか、年1回職員の健康診断を行った。	新年度開始時には、職員研修を実施するほか、消防訓練、個人情報取り扱い研修など、公園スタッフ全体で教育訓練を実施した。		
	▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 教育訓練、安全講習、造園緑化技術の習得・向上教育等を行い、スタッフのスキル向上を図るとともに、アンケート調査の実施及び分析を行い、利用者ニーズを把握した改善を行った。 事故や怪我、苦情については報告書・対応票を作成し、組織全体で即時に情報共有することにより、類似の事故や苦情発生の予防に役立てている。	スタッフのスキルアップを行うとともに、利用者のニーズ・意見を改善に繋げた。また、組織内での情報共有により、適切な対応ができた。		
	▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認） リラックスプラザ設備運転、プール監視、館内清掃、設備保守点検、水質・空気環境測定、レストラン営業、駐車場の開閉、機械警備、遊具定期点検、高圧電気設備の保安業務、消防設備点検、自動ドア保守点検、屋外公衆トイレ清掃、塵芥処理、防火設備点検、特定建築物点検、排煙設備等建築設備点検等の点検については、指定管理者の直営作業では技術的・効率的な対応が困難であることから、事前に札幌市より承認をいただいた上で専門業者に対する委託を行い、適正な業務遂行を実施した。	実施状況の通り、計画に沿って適正に発注・履行確認を実施した。		

▽　札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

▼　運営協議会の開催状況は下表のとおり

開催日	協議・報告内容
3月12日	管理運営に関する経過報告及び利用者からの要望、施設修繕、次年度の計画等について札幌市と協議
＜協議会メンバー＞	
白石区土木部維持管理課 公園緑化係長、公園緑化係担当職員、事務係長 建設局みどりの推進部みどりの管理課 公園維持係長、公園維持担当職員、公園管理係長、公園管理係担当職員 公益財団法人札幌市公園緑化協会 担当課長、担当職員2名、横浜植木㈱北海道支店長、担当社員1名	

実施状況の通り開催し、今後の課題の共通認識を図るとともに、次年度の管理運営スケジュールについて協議することができた。

▼　川下公園利活用協議会の開催状況は下表のとおり

開催日	協議・報告内容
3月10日	公園運営・事業実施、利用状況や発生事故等の報告、浴室プールに係る利活用について
＜協議会メンバー＞	
北東白石連合町内会会長、北東白石連合町内会副会長、北東白石連合町内会副会長、北東白石地区青少年育成委員会会長、北東白石連合町内会青少年部長、北東白石体育振興会会長、札幌市白石区市民部北東白石まちづくりセンター所長、札幌市立川北小学校校長、札幌市立東川下小学校校長、札幌市立北都小学校校長、札幌市立北都中学校校長、北海道立白石高校校長、大藤学園北都幼稚園園長、公益財団法人札幌市公園緑化協会川下公園管理事務所	

川下公園の活動・利用状況を説明した。特に、今後のリラックスプラザ内浴室プールの利活用について協議会メンバーから要望・意見を聞き入れ、次年度以降、運営に反映させる予定である。
また、今年度は昨年の要望を反映させた、浴室プールの新料金プランなど称賛の意見を多数いただいた。

▽　財務（資金管理、現金の適正管理）

▼資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分している。
▼当協会の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士事務所による外部監査を導入している。
▼現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組みを行っている。

不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。不正経理等はなく問題はない。

▽　要望・苦情対応

川下公園：施設管理の要望0件、苦情2件
北郷公園：施設管理の要望0件、苦情0件
豊平川緑地：施設管理の要望0件、苦情1件

プール監視員の態度、応対に関する苦情に対しては、委託先に改善指導を求め再発防止に努めた。

	▼ 要望・苦情対応については、親切丁寧かつ迅速に対応し、経過・処置を含めスタッフ間、指定管理者代表本部、札幌市への情報共有ができる体制を整えている。 ▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施） ▼ 札幌市の業務検査を受け、適切に対応した。 ▼ アンケートは自主事業の参加者を中心に実施し、集計結果はスタッフで共有するとともに、要望、意見を管理運営に反映させている。 ▼ 要望、意見については、リラックスプラザ内にアンケートボックスを設置し、管理運営に反映させた。 ▼ 月毎、四半期毎、年度での札幌市への報告は、マネージャーによるセルフモニタリングを記載して報告を行った。	また、犬の放し飼い規制に関する知識不足により利用者へ不快な思いをさせてしまった。 豊平川緑地の鍵の貸出についてはみどりの管理課と情報を密に行い、祖語のない対応に努める。 今後、委託先スタッフを含めた全スタッフへの教育、知識共有を徹底し真摯な利用者対応に努めたい。 職員の接客態度及び公園の総合評価では、目標値を大きく達成し満足度87%以上と好評価をいただくことができた。今後も、親切かつ丁寧な接客を心がけ、より一層満足いただける公園づくりを目指したい。	
（2）労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) ▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。 ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金1,010円（令和6年10月1日発効）以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出た。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定（36協定）により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。	指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。 当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催、安全講習の実施等に取り組んだ。 事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施し、安全な職場環境の実現と、スタッフの雇	A B C D 業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。

		・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を公開・周知した。 ・女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けたことを周知した。 ・安全衛生委員会を設置し、毎月1回、各公園の担当課長が出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、その結果を各公園・施設のマネージャーを通してスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。 ・維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。 ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。 ・公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高年齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。 ▼ 正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から3名が正規職員となった。 ▼ 労働災害 0件	用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。 安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。	
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ▼ 事故等の発生時に対応するため、緊急連絡体制の確保、消防訓練、災害時の訓練、浴室等の汚物発生時の対応マニュアル化等を実施し利用者の安全確保に努めた。また、浴室管理マニュアルを再整備し、レジオネラ菌発生を抑制するための体制を整えた。 ▼ 拾得物取り扱いについては遺失物法に沿ったマニュアルに則り処理・対応をすると共に道警会計課へ特例施設占有者の申請を行い、サービス向上に努めた。 ▼ 損害賠償責任保険は仕様に適合したものに加入した。 また、保険加入の必要な自主事業実施時には、参加者から傷害保険料を支出してもらい対応した。 ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▼ ライラックまつりに合わせ、好評だったハンギングバスケット、アートコンテナ花壇等での花修景を今年度も実施した。ライラックまつり終了後はリラックスプラザ中庭テラスやパークゴルフ場スタートハウス前などに飾り、グリーンシーズンを通し、花修景に取り組んでいる。	作業時の利用者への安全対策は、安全作業講習で指示、指導を行い作業による大きな労災事故の発生はなかった。 利用者の安全を最優先に考えスタッフへの安全教育を徹底した。過年度、及び他現場での事故事例を検証し再発防止に努めた。 各施設間の連携は取れており緊急時の対応もスムーズに行うことができた。 公園・緑地の維持管理については状況に応じ、適切な管理ができた。	A B C D 業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。 コロナ禍を経て、利用者の安全を最優先に考えた対応は評価できる。 公園・緑地の維持管理では、課題を的確に捉え、その改善を積極的に図るなど、より適切な対応を行った。

		また、引き続き野球場駐車場植樹桝やリラックスプラザアプローチ階段横の花壇に宿根草を新規に植栽し、公園内の花修景向上や維持管理作業軽減に努めた。 ▼ ライラックの品種管理については定期的に養生室・ミスト室の修繕及び整備を行うほか、挿し木によって苗木増殖に取り組んだ。また、ライラックの森全体が老木化しているため、5月に補植を実施した。 ▼ 芝生管理については概ね計画通りに実施できた。園内の芝生は生育旺盛だが夏場の降雨量が少なく、一部夏枯れが見られたが灌水を行い、被害を最小限に留めることが出来た。 ▼ 桜の杜及びバラ花壇には引続きウッドチップによるマルチングを行うことで、生育環境の改善に取り組んでいるほか、防草効果による作業効率化を図った。 ▼ 昨年に引き続き臨時駐車場と樹林地の境界にヒバを補植し、景観維持に努めている。 ▼ 遊具広場前の園路を横断している側溝が経年劣化により、著しく破損したため、新規に交換し、利用者の安全確保に努めた。 ▼6/28にレジオネラ菌検出の報告を受け、男子低温風呂の使用を中止した。その後保健所の指導を受けながら6/30に配管洗浄を実施するほか浴室壁面の塩素消毒を行うなど対策を実施した。その後再度レジオネラ菌検査を実施したところ未検出であるため7/9に再稼働した。レジオネラ菌による健康被害の報告は無く、再度マニュアルの整備を行うほか、塩素注入口の清掃を2か月に1回専門業者による清掃で対応を実施することとなった。 ▼ 7/1～8/31カナール・噴水（壁泉は7/20～8/22）を仕様書通り、運転したが期間中は清掃及び点検を行い、特に大きな事故もなく運用できた。 ▼ 11/27～12/11までの年次整備期間中、人工芝補修、貯湯槽清掃消毒、熱交換器洗浄整備、浴室内壁洗浄・消毒、浴室天井再塗装、プールコーキングなど、日常保守点検では行えない特別作業を実施した。	当公園の最大の魅力の一つであるライラックを中心に、園内全体の緑化における景観向上を図ることができた。 また、芝生管理も利用者が安心安全に利用できるように刈高を調整しすほか、美しい景観を整えるように日々努めた。 今年度もハンギングバスケットやアートコンテナは利用者に非常に好評であり次年度以降も継続したい。 公園設備の老朽化が激しく突発的な修繕が多くなっているが、予備部品等を事前に用意しておくことで、利用者サービス低下を最小限に留め管理できた。 また、レジオネラ菌検出による健康被害はなかったが、再度衛生管理を徹底し、再発防止に努めたい。	
		▽ 防災 ▼ 消防訓練等の防災計画を策定するとともに、7月、10月、12月3回の消防及び救命訓練を実施した。	防災訓練は計画通りに実施しスタッフのスキルアップを図ることができた。	
(4)事業の計画・実施業務		▽ 受付・接客業務のレベルアップ ▼ スタッフへの苦情・要望等の情報を共有し、接遇応対の向上を図った。また、利用者アンケート調査による接遇満足度は87.0%であり、札幌市要求水準を満たすことができた。 ▽ 協働・協力団体との連携 ▼ ボランティア活動 ・川下公園ボランティア「りらら」 ライラックの花がら摘み、剪定、挿し木を実施した。 登録者数：1人	他公園での苦情等を周知・共有し、接客・応対で同様のトラブル発生の抑制を図っている。 川下公園ボランティア「りらら」の登録者は高齢であり、活動も少なくなっている。活動を継続していくことで少しずつでも参加者の獲得に繋げていきたい。	A B C D 業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。

	▽　市民の自主活動及び交流の支援業務 ▼　白石消防署北東白石地区消防団による消防訓練への協力や、北東白石まちづくりセンターによる凧揚げ会への協力、北東白石地区青少年育成委員会による「雪あそびフェスティバル」においてテントの貸し出し、雪山作り、雪上ラフティングボートの実施など、地域活動への支援を積極的に行った。また、白石区市民部地域振興課からの、白石区と地域パートナーシップ協定を締結している「白石区ふるさと会」の活動の一環として、毎年参加している「白石こころ一どにおける環境美化活動」では、11月に白石こころ一どの清掃奉仕活動を実施した。（6月に予定していた活動は、雨天により中止） ▽　近隣小中学校に関する学習機会の提供業務 ▼　白石区ふるさと会による学生の職業体験「白石でっち奉公」を受け入れ、地域との連携を図ることができた。今年度は小学校の参加もあり、例年より多くの子どもたちに学習の機会を提供できた。 ・白石区ふるさと会「白石でっち奉公」小中学生受け入れ 延べ活動日数：8日 延べ活動人数：40人 ▼　近隣の川北小学校からは、冬休み期間中の積雪不足により校庭に雪山を作れず、川下公園のスキー山をスキー学習にて使用したい旨の依頼があり、安全に利用できるよう整備をするなど、地域の子どもたちへの教育補助を行った。 ▽　さっぽろライラックまつりの開催 ▼「第65回さっぽろライラックまつり」は、例年人気のライラックガイドツアーを始めとした来場者参加型のイベントの他、近隣の小・中・高校の吹奏楽部などを招いての、ライラックの森でのコンサートなど、いずれも大変好評であった。また、前年に引き続きハンギングバスケットやコンテナ花壇を用いた装飾は、来場者にライラックをはじめとした花の魅力を発信することができた。 ・さっぽろライラックまつり参加実績：約12,357人 ▽　ライラックに関する相談業務 ▼　ライラックまつり大通会場及び川下会場にて、ライラックの相談会を実施したほか、電話等での相談にも対応した。 ▽　水中健康教室の開催 ▼　昨年度毎週木曜日の週1回で開催した水中健康教室は、今年度はコロナ禍以前同様に毎週火曜日と木曜日の週2回で開催し、多くの受講者に参加いただき、健康増進のための一助となった。 ・水中健康教室参加者数：延べ883人	白石でっち奉公の受入により、毎年多くの子どもたちに公園の存在意義と実務を学ぶ機会を提供することができ、地域との効果的な連携を図ることができた。 また、今後も近隣学校と密接に協力し、地域に貢献できるように努めたい。 ライラックまつりは、見頃を迎えたライラックを観賞するため、多くの来場者を迎えることとなった。ライラックの無料配布には長い列ができ、またライラックの苗木を買い求める市民も多く、川下公園のライラックが市民・観光客に浸透していることが感じられた。 計画した自主事業の結果は実施状況のとおり、多くの参加者に満足していただけた。 特に水中健康教室は、週に2回の開催で、午前と午後とに開催時間を変えることで、それぞれの都合にあった受講者が参加し、好評である。		

	▽　夏休み直前　着衣泳講習会 ▼　リラックスプラザプールの利活用のため、7月15日に「夏休み直前　着衣泳講習会」を開催し、夏の水難事故防止のため、親子や大人の方の参加があった。 ▽　フリースタイルダンス教室の開催 ▼　これまでの活動実績から、教室の評判も定着し、安定した参加人数ではあったものの、講師の都合により3月末をもって終了した。 ・フリースタイルダンス教室参加者数：延べ689人 ▽　PG大会の開催 ▼　令和6年度は6月19日に「夏季パークゴルフ大会in川下公園」を開催した。 ・夏季パークゴルフ大会in川下公園参加者数：32人 ▽　ネイチャークラフト講座の開催 ▼　12月15日に壁掛けのクリスマス飾りを作るクラフト講座、2月9日に木の実を使って写真立てを作るクラフト講座をそれぞれ実施し、自然の材料を使ったクラフト講座として好評だった。 ・壁掛けのクリスマス飾り作り参加者数計：21人 ・木の実の写真立て作り参加者数計：15人 ▽　川下公園スノーラフティングの開催 ▼　冬のアクティビティ充実と利用者ニーズに応えるため、毎年好評の川下公園スノーラフティングを1月18、19日、2月8日、9日の4日間開催し、多くの参加者に楽しんでいただくことができた。 ・川下公園スノーラフティング参加者数：234人 ▽　雪とあそぼうin川下公園の開催 ▼　冬季のイベントとして例年ウインターフェスティバルを開催していたが、今年度より「雪とあそぼうin川下公園」と題し、より身近に冬ならではの遊びを楽しんでいただけるよう、屋外ではスノーラフティングボートや雪中迷路など、リラックスプラザ館内ではバスボム作り体験を行い、市民に川下公園の冬を味わっていただいた。 ・雪とあそぼうin川下公園参加実績：1,233人	今後も、気候の変化や社会情勢に素早く対応できる体制を整え、地域一体となった公園の活性化に努めたい。 また、新たに着衣泳講習会を開催したが、水難事故防止とリラックスプラザ内プールの有効活用を図ることが出来た。	

(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等 ▽ 不承認、取消し、減免、還付 ▼不承認 0件 ▼取消し 0件 ▼減免 32件 川下公園テニスコート 26件 川下公園野球場 6件 豊平川緑地サッカー場 0件 北郷公園野球場 0件 ▼還付 63件 川下公園テニスコート 22件 川下公園野球場 13件 豊平川緑地サッカー場 12件 北郷公園野球場 12件 北郷公園野球場照明 4件 ▽ 利用促進の取組 【プール・浴室】 ・毎日家族割引実施 ①家族で利用する場合、小中学生の浴室利用料金を無料(7・8月を除く土日祝日) ②平日に小中学生が利用する場合、浴室利用料金を200円 ・敬老の日(9月16日)は高齢者料金(65歳以上)を無料とした ・浴室、プールレンタル品の貸出(水泳帽、ビート板等)	プール・浴室利用者数は前年比97%であった。6月の男性低温浴槽レジオネラ菌検出並びに9月の男性高温ポンプ交換における一部、浴槽利用休止が影響したものと考えられるが、12月以降、持ち直すことが出来た。なお、昨夏の酷暑の影響でプール利用が増えていたこともあり、今夏はそれ程までの気候ではなかったことも要因として考えられる。 有料運動施設においては、10月以降の悪天候が影響し前年度よりやや利用件数は減少したものの、野球場においては川下、北郷ともに増加した。 今年度は過年度から利用促進サービスとして実施してきた浴室・プール、有料運動施設利用者等に向けた浴室サービス料金システムを一部改変し「毎日家族割」と「運動してお風呂割引」を導入した。	A B C D 6月の男性低温浴槽でのレジオネラ菌検出の際は本市保健所の指導のもと、利用者の安全を第一に施設の見直し及び水質点検の改善を行うよう求め、迅速に対応できていた。今後とも施設の安全・安心な利用環境の保持に努められたい。

		R5年度実績	R6年度実績
浴室・プール(川下)	件数(件)	34,530	33,450
	人数(人)	34,530	33,450
	稼働率(%)	−	−
野球場(川下)	件数(件)	247	276
	人数(人)	11,909	15,152
	稼働率(%)	26.4	29
庭球場(川下)	件数(件)	1,514	1,348
	人数(人)	11,967	9,978
	稼働率(%)	34.7	32
パークゴルフ場(川下)	件数(件)	−	−
	人数(人)	4,916	4,339
	稼働率(%)	−	−
サッカー場(米里)	件数(件)	455	453
	人数(人)	26,006	25,868
	稼働率(%)	14.9	14
野球場(北郷)	件数(件)	175	208
	人数(人)	5,869	6,086
	稼働率(%)	19.0	18

		・運動してお風呂割引 　川下公園・北郷公園・豊平川緑地下流地区内の有料運動施設や川下公園歩くスキー等のスポーツアクティビティを利用した後に浴室利用をする場合、浴室利用料金を200円 【パークゴルフ場】 ・川下１日券実施 ・敬老の日（9月16日）は高齢者料金（65歳以上）を無料とした ・スポーツの日（10月14日）は利用料金を無料とした ・クラブ・ボールの洗い場を設置 ・レンタルクラブ貸出 【川下公園・北郷公園野球場】 ・固定ベースを設置 ・グラウンド整備道具の増設 【川下公園テニスコート・野球場、北郷公園野球場、米里サッカー場】 ・スポーツの日（10月14日）は利用料金を無料とした ・運動してお風呂割引 ・レンタルテニスラケット貸出 【リラックスプラザ】 ・卓球台・ラケットの貸出	これは従来のサービスに対して川下公園近隣の町内会や学校などからの意見・要望を集約した料金システムで、利用者から大変好評であり、リピーターも多かった。 　年度末の川下公園利活用協議会からも迅速なサービス改変に対して称賛の意見を多くいただき、次年度も継続したい。 　また、リラックスプラザの利用促進策として新たに卓球台を設置し、気軽に低料金で楽しんでいただき、想定以上の好感触であった。	

(6)付随業務	▽ 広報業務 ▼ インターネットを効果的に活用し、リアルタイムな情報発信に努めた。 ホームページ閲覧数 ①川下公園 293,741件(昨年度比 88.7%) ②北郷公園 9,289件(昨年度比 103.9%) ③豊平川緑地 11,084件(昨年度比 90.1%) ・メールフォームの活用 公式ホームページ内のメールフォームから来る問合せに即時に対応した。 ▼ 自主事業の広報チラシ・ポスターを作成した際は、連携する公共施設窓口、町内会、近隣学校関係、観光案内所等に配布するとともに、マスメディアへの投げ込みも行い、集客を図った。 ▼ さっぽろライラックまつりの広報は、札幌市観光企画課、一般社団法人札幌観光協会と連携し、大通会場と連携した広報活動を行った。 ▼ 公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ研修を担当職員対象に実施した。また取組確認・評価表を、令和7年3月25日に公開した。 ▽ 引継ぎ業務 前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。	広報業務は、広報さっぽろをはじめ、チラシ、ポスター、ホームページ、マスメディアなどの媒体を活用した。 ホームページのリアルタイムな情報発信に力を入れたことで、市民サービスの向上に繋がった。 特に北郷公園のホームページ閲覧数は前年度を上回っており、市民の関心度の高さも窺えた。 ただし、川下公園ホームページ閲覧数等が伸び悩んでいるが、今般、情報取得手段がSNS等に分散していることから、より効果を発揮するための工夫や手段の選択も必要と思われる。 なお、今後もこまめに情報発信することで公園利活用の活性化とサービスの向上につなげたい。	A B C D 業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。 HPの情報更新が適時・適切になされており、情報提供ツールとして有効に機能している。

2　自主事業その他		
▽　自主事業 ▼ リラプラ利用促進・活性化における新たな取組事業として卓球レンタルを開始した。 ▼　レストラン（リラパーク、臨時売店）、自販機手数料事業 売上高3,815千円 ▼　イベント事業（ダンススクール等） 売上高1,113千円 ▼　売店事業（リラックスプラザ受付、プール・浴室受付、パークゴルフ受付） 売上高1,883千円 ▼　施設事業収入（水中健康教室） 売上高558千円 ▼　その他収入（広告収入・振替収入） 売上高0円	パークゴルフ大会や各種講座、ダンス教室を実施し、積極的に公園の利活用につなげることができた。特に、新規事業である卓球レンタルは、リピーター数も多く好評を得えることができた。 屋外・屋内、四季を通じ自主事業を開催することで公園利用の多様化に寄与し、地域交流の活性化、幅広い年齢層との交流の機会を提供することが出来た。	A　B　C　D 各種事業が増収になったことは望ましいものと考える。　自主事業については、今後、ニュースポーツ（モルックなど）の大会を主催するなど新たな取り組みを期待したい。
▽　市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼　リラックスプラザの設備運転、プール監視、館内清掃、設備保守点検、水質・空気環境測定、レストラン営業、駐車場の開閉、機械警備、遊具定期点検、高圧電気設備の保安業務、消防設備点検、防火設備点検、特定建築物点検、自動ドア保守点検、屋外公衆トイレ清掃、塵芥処理についての第三者委託は市内企業に発注した。 ▼　浴室・プール用の水中車椅子2台を常備している。 ▼　障がい者用駐車スペースを確保した。 ▼　冬期間駐車場での転倒防止のため、砂・凍結防止剤の散布を行った。 ▼　公園・緑地のバリアフリー情報をホームページで公開した。	委託業者はすべて市内企業のみを活用した。 物品・資材等の購入は、市内企業を積極的に活用した。概ね計画通り実施できた。	

3　利用者の満足度

▽　利用者アンケートの結果

実施方法	川下公園（自主事業：ネイチャークラフト講座含む）利用者に対してアンケートを6回実施し、276人から回答を得た。
結果概要	総合的な満足度は、要求水準70%に対し90.9%となり、20ポイント以上上回る結果となった。 ・接遇に関する満足度は要求水準80%に対し87.0%となった。 ・来園目的としては、「イベントに参加するため」が46.7%と最も多く、次いで「子どもの遊び」が41.3%となった。 ・公園情報の入手方法は、「公式ホームページ」と「知人・家族から聞いて」が同率で25.0%と最も多かった。 ・利用者の来場地は、白石区が31.9%と圧倒的に多く、次いで豊平区が8.3%、中央区・東区が7.6%となった。 ・来場者構成では、家族との来場が70.3%と大半を占
利用者からの意見・要望とその対応	【意見・要望等】 「職員の方がとてもやさしかった」、「とてもきれいに整備されていて、ライラックまつりでの汽車のオブジェも素敵だった」などの称賛の意見や、「イベントの開催について、あまり知られていないのでは」、「冬のイベントでは、もっとソリ山を増やしてほしい」などの意見・要望があった。 【対応等】 今後も来園者に楽しんでいただける工夫をし、積極的な広報活動を展開していくとともに、市民の声に耳を傾けていけるようアンケート活動にも力を入れたい。

川下公園スタッフの接遇に関する称賛の意見が多く、満足度が87%となった。利用者と直接会話する場面も多く、スタッフ内の情報交換や接遇研修等の成果が現れた結果となった。
今後も多くの利用者に満足していただける施設になるよう、スタッフの意識を高めていきたい。

A	B	C	D

総合満足度・接客満足度ともに、要求水準を上回っており、適切と判断する。
要望・苦情については、親切・丁寧かつ迅速に対応している。

4 収支状況

▽ 収支 （千円）

項目	R6年度計画	R6年度決算	差（決算−計画）
収入	178,852	180,936	2,084
指定管理業務収入	173,242	171,865	▲ 1,377
指定管理費	156,217	156,591	374
利用料金	17,025	15,161	▲ 1,864
その他		113	113
自主事業収入	5,610	9,071	3,461
支出	178,283	189,126	10,843
指定管理業務支出	176,828	184,618	7,790
自主事業支出	1,455	4,508	3,053
収入−支出	569	▲ 8,190	▲ 8,759
利益還元	0	0	0
法人税等	569	575	6
純利益	0	▲ 8,765	▲ 8,765

▽ 説明

▼ 指定管理費収入について、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定書の改定協定書」、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定における費用見直し等に関する確認書（電気料金等）」により374千円の増となった。
▼ 利用料金収入は、時短営業もあり、計画より1,864千円の減となった。
▼ 自主事業収入は、売店収入や手数料収入が増加し、計画より3,461千円の増となった。
▼ 指定管理業務支出は、リラックスプラザ時間短縮営業があったものの、重油単価上昇の補填がなく、7,790千円の増となった。
▼ 自主事業支出は、公益事業への繰入が増加のため、計画より3,053千円の増となった。
▼ 利益還元については、公益法人の特質上、協会全体として収益の約半分を公益事業に繰り入れている。

収入については、時短営業の影響も有り、また運動施設（サッカー、パークゴルフ）の利用者減のため、利用料金が減収している。
売店収入などでは、ライラックの売り上げが好調で、毎年絶えずライラックを普及啓発していた効果が得られていると感じ出ている。
次年度以降は更なる利用促進事業を強化し増収を図りたい。

A B C D

利用料金収入の伸び悩みを、今後の利用促進事業の進捗により計画数値達成することを期待したい。
自主事業の収入増を評価したい。
今後もさらなる販売拡大等に繋げてもらうことを期待する。

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

▼当コンソーシアムの代表団体である札幌市公園緑化協会の財務状況等は、令和6年度、赤字決算となり、運営安定化積立資産も取り崩すこととなった。次年度以降、なお一層の経費節減が求められるものの、自主事業の好調を引き続き継続し、経営能力の安定化を図っていく。また、他の指定管理の構成団体についても、前年度から大きな変化はなく、安定経営能力に問題はない。

適 不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。
▼情報公開請求はなかった。
▼当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。
▼公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。
▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。

適 不適

Ⅲ　総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
[川下公園・北郷公園・豊平川緑地（下流地区）] 　川下公園・北郷公園・豊平川緑地（下流地区）の管理運営に関して、浴室プールの新料金プランをはじめ、ライラックまつりなどの大規模イベントも実施し、市民サービスの向上を図った。 　また、リラックスプラザの効率的な運営を行うため、試験的に時短営業を実施し2年目となったが、光熱水費や人件費削減に取り組み一定の効果を得ている。 　その他、川下公園利活用協議会を3月に開催し、近隣小中学校や町内会などから川下公園の今年度の事業を報告したところ、前年度の課題を臨機応変に対応していると称賛の意見を多くいただくことができた。	[川下公園・北郷公園・豊平川緑地（下流地区）] 　時代の変化とともに、公園の利用方法やあり方など、小さな変化を感じ取り、管理運画に活かすことが重要である。 　地域密着を意識しつつ、維持管理コストを考え効率的な運営をしたい。
▼川下公園 ▽緑地管理においては、樹木、芝生、バラをはじめ良好な管理ができた。特に芝生管理では、適度に降雨があったため、良好な状態で維持管理を行うことができた。 　ライラック管理では、枯死したライラックの植床に補植を行い景観を整えた。また、株分け作業を行うほか、アリの営巣を確認後は、樹木医に診断を依頼するなどの対策を行った。 　その他の修景管理ではハンギングバスケットや川下公園オリジナルのアートプランターを設置し、ライラックの森に多くの利用者が訪れ、好評を得ることができた。 ▽施設管理においては汚水槽ポンプや循環ポンプで不具合が生じた場合も適切に復旧し利用者に不便をかけることなく管理ができた。しかし、6月28日に男性低温浴槽からレジオネラ菌が検出され、すぐに浴槽を使用不可にし、保健所に報告後、洗浄と消毒を実施した。再検査後に安全性が確認され、7月9日から使用再開した。以後、塩素注入口の清掃回数を増やすことや、管理マニュアルの見直し、循環水吐出口に飛沫防止プレートを設置するなど保健所の指導の元更なる衛生管理に努めた。 ▽今年度も昨年度に引き続き、リラックスプラザを効率的に運営するため21時閉館から19時閉館に時短営業を実施したところ、水道・電気・重油使用量など削減でき、環境負荷の低減を図るほか、経費削減に努めた。利用者からは時短営業による大きな苦情などは寄せられておらず、一定の効果を感じている。 ▽昨年度、3月に実施された、川下公園利活用協議会では、運動施設とお風呂のセットプランなどの意見要望等があったため、新料金プランを設置したところ、利用者からは好評で、特に運動施設利用者が200円でお風呂に入れるプランは特に好評だった。今年度開催された、川下公園利活用協議会では、フットワークの軽い対応で素晴らしいと多くの称賛の意見をいただくことができた。	▼川下公園 ▽1999年にオープンした川下公園は、樹木とともに張り出した枝が道路を被圧しつつあるため、これからの維持管理方法について模索したい。 ▽公園設備の老朽化がさらに加速している印象を受けている。 大規模なものから小規模なものまであるが、安全で安心な施設管理を心がけたい。 ▽浴室プールをはじめとするリラックスプラザは、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の利用者いることから、今後も浴室プールの水質管理をはじめとする衛生管理の徹底に努め安全安心な公園利用に努めたい。 ▽近年公園スタッフを求人しても、応募が来ない事例が多々あり、対応に苦慮している。雇用内容を検討し、魅力的なリクルートをしたい。 ▽リラックスプラザの運用について、市民サービスの向上を図れる新たな自主事業を検討したい。

▼北郷公園 ▽緑地管理においては、概ね作業工程通り実施できた。また、屋外公衆トイレや野球場も適切に管理し、快適に利用できるように努めた。 ▽例年騒音問題などが多い、バスケットコート管理については、バスケットゴールネットの破損が多く、対応に苦慮したが、利用者に不便がかからないように修繕するなどの対応をした。 ▽パークゴルフ管理では同好会による維持管理が行われ今年度も事故無く終えることができた。	▼北郷公園 ▽例年騒音や利用方法に係る苦情の多いエリアであるため、適時巡視点検をするほか、バスケットコートなど特に音の出やすい施設については掲示物等で利用マナーを守るように周知したい。
▼豊平川緑地（下流地区） ▽計画及び緑地内の状況に応じて、計画業務実績表のとおり作業を実施し、概ね計画通り管理作業を行うことができた。 ▽今年度も市内の堆雪場になったことを受け、雪解け後は道路のひび割れや破損が発生していたが、巡回時に発見後は関連部署に報告するなどの対応をした。 ▽米里サッカー場は、不陸などによる事故が起こらないよう適時整地を行った。また、整地時は砂埃が立ちやすく近隣住宅地に飛散しないように天候を選ぶなどの対策を講じた。 ▽東雁来少年野球場では許可していない設置物など発見時は札幌市に報告するなど適切に対応を行った。	▼豊平川緑地（下流地区） ▽近年新たに堆雪場となったエリアについては、アスファルト舗装の剥がれやひび割れが多発しており、春の巡視点検時は重点的に確認したい。 ▽緑地の利用にあたり、許可されていない設置物を設置する利用者がいるため、重点的に巡視点検し発見時は適切に対応したい。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
令和6年度は、6月の男子低温浴槽でのレジオネラ菌の検出時の施設休業以外、施設利用や各種自主事業の実施がほぼ通常に行われていた。レジオネラ菌検出時の対応については本市保健所の指導の下、施設及び水質点検の改善を行い、迅速に対応していた。また、施設の管理についても利用者の安全・安心を優先して取り組んでおり、結果、利用者アンケートの満足度は高評価を得ていた。以上のことから、適切な維持管理がなされたものと評価する。	改善指導ではないが、引き続き施設の老朽化を考慮した適切な維持管理や中長期的な視点も踏まえた適切な公園管理をお願いしたい。特に日々の安全管理について利用者の視点に立ち先行して改善を行うようお願いしたい。水施設を有するリラックスプラザを抱える川下公園は、法定管理を含む様々な対応があり多岐に渡る維持管理を求められる場所であるが、広い芝生広場など現況を生かせる事業を行って市民に親しまれる公園を目指してほしい。北郷公園は古く使い勝手の悪い施設など工夫して対応してほしい。また、ニュースポーツ（モルックなど）の大会の主催など新たな自主事業の実施、引き続き今後の収入増が見込まれる分野を開拓し、利益還元に繋げてもらうことを期待したい。